

1 結果の要約

(1) 出生数は増加

出生数は5,585人で、前年の5,582人から3人増加し、出生率（人口千対）は8.0で、前年の7.9を上回った（全国第28位）。

合計特殊出生率は1.68で、前年の1.61を上回り、全国第2位（昨年
は第5位）であった。第1位は沖縄県（1.90）、第2位は島根県（1.68）、
第3位は宮崎県（1.67）、第4位は鹿児島県（1.64）、第5位は長崎県
（1.63）である。

(2) 死亡数は増加

死亡数は9,513人で、前年の9,412人から101人増加した。死亡率（人
口千対）は13.6で、前年の13.3を上回った（全国第2位）。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、
第3位は脳血管疾患となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ26.7%、
15.4%、10.2%である。本県では平成7年以降、死亡者のおよそ3割の
死因が悪性新生物となっている。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△3,928人で、前年の△3,830
人から98人減少し、自然増減率（人口千対）は△5.6で、前年の△5.4
を0.2下回った（全国第43位）。本県は平成4年以降、死亡数が出生数
を上回る自然減となっている。

(4) 死産数は増加

死産数は138胎で前年の136胎より2胎増加し、死産率（出産（出生
＋死産）千対）は24.1で、前年の23.8を上回った。死産率のうち、自
然死産率は10.0（前年は8.9）、人工死産率は14.2（前年は14.9）とな
っている。

(5) 婚姻件数は増加

婚姻件数は、3,114組で、前年の3,058組から56組増加し、婚姻率（人
口千対）は4.4で、前年の4.3を0.1上回った（全国第40位）。

平均初婚年齢は夫30.4歳、妻28.6歳で、夫は前年より0.1歳上昇し、

妻は前年より 0.1 歳上昇した（全国平均は夫 30.8 歳、妻 29.2 歳）。

（6）離婚件数は減少

離婚件数は 1,014 組で、前年の 1,043 組から 29 組減少し、離婚率は（人口千対）1.44 で前年の 1.47 を下回った（全国第 44 位）。

表 1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	平成 24 年	平成 23 年	対前年 増減	平成 24 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 23 年
出生	5,585	5,582	3	8.0	7.9	1 時間 34 分 6 秒	1 時間 34 分 9 秒
死亡	9,513	9,412	101	13.6	13.3	55 分 15 秒	55 分 50 秒
乳児死亡	11	11	0	2.0	2.0	33 日 4 時間 21 分 49 秒	33 日 4 時間 21 分 49 秒
新生児死亡	6	5	1	1.1	0.9	60 日 20 時間	73 日
自然増減	△ 3,928	△ 3,830	△ 98	△ 5.6	△ 5.4	…	…
死産	138	136	2	24.1	23.8	2 日 15 時間 28 分 41 秒	2 日 16 時間 24 分 42 秒
自然死産	57	51	6	10.0	8.9	6 日 9 時間 41 分 3 秒	7 日 3 時間 45 分 52 秒
人工死産	81	85	△ 4	14.2	14.9	4 日 12 時間 8 分 53 秒	4 日 7 時間 3 分 31 秒
周産期死亡	19	13	6	3.4	2.3	19 日 5 時間 3 分 9 秒	28 日 1 時間 50 分 46 秒
妊娠 22 週以後の死産	14	9	5	2.5	1.6	26 日 1 時間 42 分 51 秒	40 日 13 時間 20 分
早期新生児死亡	5	4	1	0.9	0.7	73 日	91 日 6 時間
婚姻	3,114	3,058	56	4.4	4.3	2 時間 48 分 47 秒	2 時間 51 分 52 秒
離婚	1,014	1,043	△ 29	1.44	1.47	8 時間 38 分 20 秒	8 時間 23 分 55 秒

	平成 24 年	平成 23 年
合計特殊出生率 *	1.68	1.61

* 分母に用いた人口
5 歳階級別総人口（総務省推計）

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満 22 週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満 22 週以後の死産）千対である。